

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

- 今日は 2026 年職員献身礼拝として捧げました。
- 今日は、愛餐会の時に、1 月の小グループの交わりを行います。食事と交わりを通して、その日のメッセージの恵みを主にあって分かち合い、証しの時ともなります。どうぞご参加ください。
- 2 月 22 日(日)は、飯田福音教会 創立 32 周年記念礼拝です。主の恵みを覚え、共に感謝をもって礼拝をささげます。また、午後には創立 32 周年お祝い礼拝を行います。これまで教会を守り導いてくださった主に感謝し、共に喜びを分かち合う時といたします。当日は、記念品も用意しております。この恵みの機会に、ご家族やご友人もぜひお招きください。共に主の恵みと喜びを分かち合いましょう。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。



「次世代(子ども・若者)が主
に召され、信仰に立つ祝福」
詩篇 78 篇 1-7 節

1 私の民よ私の教えを耳に入
れ私の口のことばに耳を傾けよ。2 私は口を開いてたと
え話を昔からの謎を語ろう。3 それは私たちが聞いて知
っていること。私たちの先祖が語ってくれたこと。4 それ
を私たちは息子たちに隠さず後の時代に語り告げよう。
【主】の誉れを主が行われた力ある奇しいみわざを。5
主はヤコブのうちにさとしを置きイスラエルのうちにみお
しえを定め私たちの先祖に命じてその子らに教えるよう
にされた。6 後の世代の者生まれてくる子らがこれを知
りさらに彼らがその子らにまた語り告げるため 7 彼らが
神に信頼し神のみわざを忘れずその命令を守るために。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダ) (松島スヤンティ 祈禱)
夕方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダ) (北原孝子 祈禱)
水曜礼拝 松島スヤンティ(司会) (高木はつ江 祈禱)

2026 年 祈 禱 題 目

1. 神の御心を求める礼拝と祈りが満ちる教会。
2. 次世代(子ども、若者)が主に召され、信仰に立つ祝福。
3. 福音宣教に献身する者、次世代リーダーが起こされるように。

週報 2026-3 号

2026.1.18

神の計画の中を歩む教会

職員献身礼拝

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)
副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

職員献身礼拝

AM 11:00～

司 会 熊谷茂美
黙 禱 (祈 願) 司会者
開会賛美 賛美集 54 父の心
信仰告白 (使徒信条)
賛 美 賛美集 45 したい求めます
代表祈禱 高木はつ江
特別賛美 インマヌエル聖歌隊
献身者一同

聖書箇所 詩篇 78 篇 1-7

(次世代が主に召され、信仰に立つ祝福)

メッセージ 柳承吉牧師
捧げものと祈り 鈴木真由美
賛 美 神の家族
祝 禱 柳承吉牧師

夕方賛美礼拝

PM 2:30～

賛美リード 韓芽唯
代表祈禱 高木はつ江

聖書箇所 出エジプト記 3:14

メッセージ(どの神を信じ告白しているのか)柳承吉牧師
主の祈り

水曜礼拝

PM 7:00～

司 会 韓芽唯
代表祈禱 松島スヤンティ

聖書箇所 ローマ書 9:2-5

メッセージ ローマ書 9 章の概略(2) 柳承吉牧師
主の祈り

今週の御言葉

「次世代(子ども・若者)が主に召され、
信仰に立つ祝福」
詩篇 78 篇 1-7 節

2026 年、教会の第 2 の祈禱題目として、私たちは「次世代が主に召され、信仰に立つ祝福」を掲げています。これは単なる教育や活動の課題ではなく、神の国が歴史の中で途切れずに前進していくための、神の御心そのものです。

詩篇 78 篇は、信仰継承の重要性を力強く語る御言葉です。ここで繰り返されるのは、「語り告げよ」「忘れさせるな」「後の代が知るため」という言葉です。

信仰は自然に受け継がれるものではありません。語られなければ伝わらず、見せられなければ根づかない。信仰継承は偶然ではなく、意図的な霊的働きなのです。

神の救いは「個人」だけで完結するものではありません。聖書は一貫して、「あなたとあなたの子孫を」と語ります。神の救いは点ではなく、一人から家庭へ、教会へ、次の世代へと流れていく線です。

ただし、次世代信仰とは、同じ信仰の形をコピーすることではありません。同じ主に、次の世代が自分自身として出会うことです。

そのために神は、「家庭」と「教会」という二つの場を備えてくださいました。
申命記 6 章は、まず大人自身が主を愛し、その姿を日

常の中で生きることを教えます。信仰は教室以前に、生活の中で伝わります。失敗したときにどう謝るか、不安なときに誰に祈るか、そこに信仰は映し出されます。

同時に、教会は次世代にとって、家庭を超えた信仰の居場所です。世代を超えた祈りと交わりの中で、信仰は根を張っていきます。

主イエスは、次世代を「将来の教会」ではなく、「今、祝福される存在」として迎えられました(マルコ 10 章)。私たちは救うことはできませんが、主のもとへ連れて行くことはできます。祝福されるのは、主ご自身です。

信仰に立つ力は、感動ではなく、みことばによって育ちます。テモテが幼いころから聖書に親しんだように、繰り返し蒔かれたみことばが、人生の嵐の中で人を立たせます。若さは弱点ではなく、神に用いられる可能性です。

私たちは、次の三つを教会として大切にします。

- ① 次世代を祝福する教会となり、名前を呼び、祈り、存在を尊ぶ。
- ② 祈りの優先順位を整え、問題より先に、召しと信仰のために祈る。
- ③ 家庭と教会で、日常にみことばの環境を整える。

この教会が、世代を超えて、神の御業を語り継ぐ群れとなりますように。